



昭和49年8月十五日正午敗戦の玉音放送を聞いた日のことだ。帰宅の途中内病院脇下の炭酸屋を通り抜けた。大金がなくて「これからは銀飯が食えるな」と五十歳位のオヤジが出てるようにいった。ひとりでいた。妙になまめかしく聞えた。オカユやオシヤやカニ飯つきの毎日で、米はからぬ飯をキンしゃりとか銀メンと呼んでいた当時だった。

明治維新の時、二二新兵で新時代の駆けださずよいひ、暮らしも楽になり、税務も

安くなるためと腹を括りました人も少なかったに違いない。

だが、よくこんだ武士のなかで自分が生まれる時から身につけた武士のタマシハイである力を失せなくなつた。傍で見る日が来ることを知つて、自分があれでありたい。

昭和の敗戦で職業軍人は、自らが軍人でなくなることが出来なかつたかも知れ

た。明治維新の時、二二新兵で五万石の大名は五千石。百石侍は十石、五石三人扶養の十分の人にされてしまふ。大名は十分の人にされてしまふ。

シ。明治三年の十二月は武士の家計などて大変な年の暮れ

とされた。

新政府の官所は火の車。それでも明治三年二月には帰農に出稼の武士定額に賜金制を設け

てめざむいている。その一方、この九年分割支給公債百万本

う。大名は十分の人にされてしまふ。

シ。明治三年の十二月は武士の家計などて大変な年の暮れとされた。

新政府の官所は火の車。それでも明治三年二月には帰農に出稼の武士定額に賜金制を設け

てめざむいている。その一方、この九年分割支給公債百万本

う。大名は十分の人にされてしまふ。

やまと云ふ物

(39)

画・文 美原 実

がまだないと思つた。隣ぐりみらいこまち農産がはじめる方

アコは、明治末から大正初年にかけて創業された。

それから牛乳がはじめる方

吉く、明治八年武家の商法で始

められた。

それが、明治八年武家の商法で始

武家の商法牛乳屋

百余頭を上小川村で飼う

各連に常備兵編成則を決め

て、武夫業の動搖心を押さえ

心配を怠れていた。

職業軍人などには有能な材

も、日本帝國陸海軍を離れる

連をもがれた風のように、社会

人などには全く動きのとれな

男性がいた。維新でも武士の俸

祿を失つて國民に編入されだと

たんシャコぼつた「ク」ボ

ー化し、落語に登場する武家

の筋道という悲喜劇が続出

した。

長州定壓出身の山眞右衛門曰

白の橋山狂を入手できたら、

島女を表遊女に表る大豪の櫻

川原本もあり、二二新兵の混話は

大東亜戦争の敗戦後においても

のとない。パンパンの脛ひ

あつい昨日のいいじ脛わざの

が、明治維新もそれまで頑張

いたのじ、なんとかカマボコ

あつから渡り切った

當時の本意だった。第一高橋す

る。

牛の魔力に心かられて、つか

れたよひ、牧畜事業のため

年また、政府資金借用は八

千七百一円七十三銭一厘となつ

た、米一升六錢五厘の時であ

る。

牛の魔力に心かられて、つか

れたよひ、牧

重点事業

国・県へ要望

せひ来年度着手を

小名浜西六区の移転

高速道、タウン、大学誘致

盛りたくさん50件も

いわき市は六日、五十年度の重点事業十七件、重点事業三十三件をまとめて、来年度着手を期して國・県に要望した。環境の整備・社会福祉・教育文化施設の充実などが主眼で、重点事業には内閣総理大臣指定(四十八年七月)による公害防止計画の推進、小名浜西六区住宅団地整備、いわきリニアの建設・大学誘致・県営体育館の建設ほか磐梯高架自動車道などと、する公共交通ネットワークの整備などがある。主な要望内容は次の通り。

○公害防止計画の推進(現在、十月に内閣総理大臣から承認され実施するため現行制度との補助金が策定中の公害防止計画は今年の予定だが、市としては計画通り実を要望する)。

○小名浜地区住宅団地移転事業(特別の財政措置がない限り事業が困難なので国庫補助事業として採用してほしい)(公害課によっての申請をするが、環境汚染が現在小名浜地区をはじめとする公害による住民搬出移転についての議会を発足させるべく準備中)。

○いわき臨海工業地帯防災対策事業の促進(石油コンビナート化

必需要なので助成を)

○いわきリータウン建設(五

百五十九点七千三万四千人(計画)のいわきリータウンは用

途(大手説教)は毎年の同学心を満たし、あわせて産業の発展に対処できる村の整備を図るために大

学説教の早期実現を(大学説教

がかかるのは約一年後)。

放流した稚貝は磯部海岸の保護本面から持つて来た稚貝からいつ

たもの。一個の大さは50cm・55cm

前後。一年たてば大きくなるに成

た。ホツキ貝はまだ北陸地方

にされ、いままき三千円前後

男氏が議長となりて四十八年度の事業報告後、四十九年度の事業計画と予算案を承認、投資を改訂した結果次の通り選出した。

▼会長=遠藤氏(植田) 副会長=沼田多賀(山田) 山野辺徳雄(鶴) 寒天自弘(勿来) 柏原緑(川部) ▼事務局長=荒井光男(勿来) ▼会計=中根三男(植田) 司会=白銀商店会

トリークラブで行われる。

十四日前よりスタートで平カン

スカムマソモト

一点差で秋田に惜敗

東北六県高
校野球決勝

磐城の追撃ならず

第二回東北六県高校野球大会は八日かい、岩手県盛岡市の岩手県営球場で開幕し、十日後磐城から本島代表の地元磐城高と秋田市立が対戦。磐城山崎・秋田市立右崎投手の投げ合ひの中、磐城した試合を磐城。秋田が七回表御を破り一点を先制しての手を握り切った。この手が磐城の力が強くなる点をアラウンドコンドインシヨンは悪かったが、両投手とも戦った。

△決勝

秋田市立

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

000

